



【みどり市アクションプログラム】

みどり市 都市計画課

■はじめに

みどり市では、平成24年12月に「ぐんま“まちづくり”ビジョン」に基づくアクションプログラム策定モデル市町村の指定を受け、平成26年8月に「みどり市アクションプログラム」を策定しました。

■みどり市アクションプログラムの取り組み方針

アクションプログラムの策定にあたり、「まちづくりの現状と課題」や「今後生じる望ましくない状況」を分析したところ、特徴が異なる3町村の合併で誕生したみどり市は、地域によって抱えている課題も異なり、「町の検証カルテ」のすべての項目で課題がありとの判定となりました。この結果を踏まえ、「ぐんま“まちづくり”ビジョン」で定める7つの基本方針すべてに取り組む内容となりました。

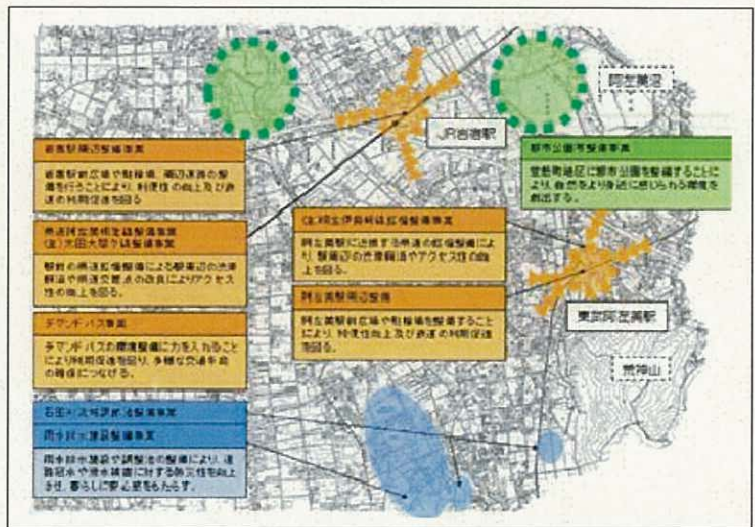
■みどり市アクションプログラムの重点プロジェクト

みどり市アクションプログラムでは、おおむね5年以内に効果発現が期待される複数の事業をまとめた「重点プロジェクト」として、笠懸地区における「安全安心で快適に過ごせる魅力あるまちづくり」と大間々地区における「地域資源を活用した観光まちづくり」の2つのプロジェクトを策定しました。

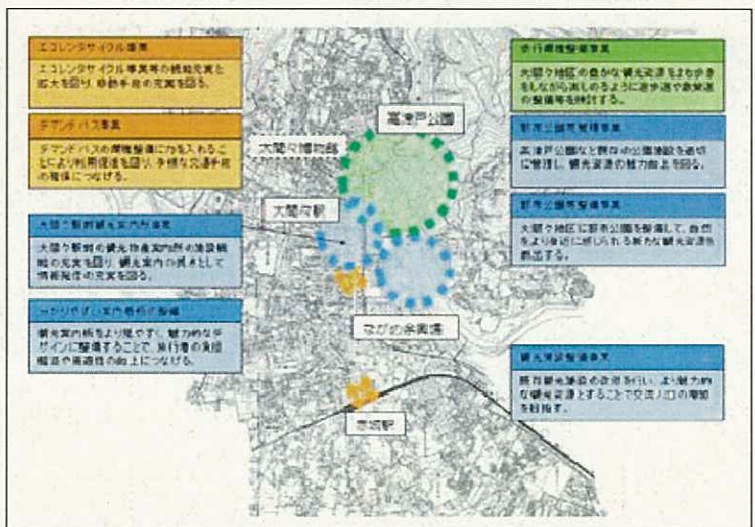
「安全安心で快適に過ごせる魅力あるまちづくり」では、笠懸町阿左美地区内にある東武鉄道阿左美駅、JR岩宿駅の駅前広場を中心とした周辺整備を行い、両駅が共通して抱える駅前広場が狭いという課題を解消し、公共交通の利便性の向上を図ります。特に阿左美駅周辺では、群馬県が主要地方道桐生伊勢崎線の拡幅整備を進めているため、群馬県と協力しながら道路と駅の一体的な整備を図っていきます。また、同地区における雨水排水対策や公園整備等により市民の生活環境を向上し、生活拠点としてまちの魅力を高めます。

「地域資源を活用した観光まちづくり」では、古くから銅山街道の宿場町として栄えた大間々町において、旧市街地からの人口流出が増加していることから、ながめ余興場や高津戸峡などの豊富な観光資源を活かし、観光案内所の機能充実や歩行環境を整備することで、多様な観光客のニーズに応え、交流人口の増加とまちの活力向上を図ります。

みどり市では、今後、「みどり市アクションプログラム」で定めたプロジェクトに取り組み、みどり市が目指すまちの将来像「輝くひと 輝くみどり 豊かな生活創造都市」の実現に向けた、まちづくりを進めていきます。



「安全安心で快適に過ごせる魅力あるまちづくり」地区概要図



「地域資源を活用した観光まちづくり」地区概要図

